

ルカによる福音書 23 章 35～43 節

民衆は立って見つめていた。議員たちも、あざ笑って言った。

「他人を救ったのだ。

もし神からのメシアで、選ばれた者なら、自分を救うがよい。」

兵士たちもイエスに近寄り、酸いぶどう酒を突きつけながら侮辱して言った。

「お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」

イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札も掲げてあった。

十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。

「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」

すると、もう一人の方がたしなめた。

「お前は神をも恐れないのか、同じ刑罰を受けているのに。

我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。

しかし、この方は何も悪いことをしていない。」

そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、

わたしを思い出してください」と言った。

するとイエスは、

「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」

と言われた。